

雪害木処理 安全作業のポイント

Safety

「危険」をチェックしよう!!

段取り八分



秋田労働局
林業・木材製造業労働災害防止協会秋田県支部
林材業ゼロ災推進秋田県協議会

危険を読んで、災害を防ご

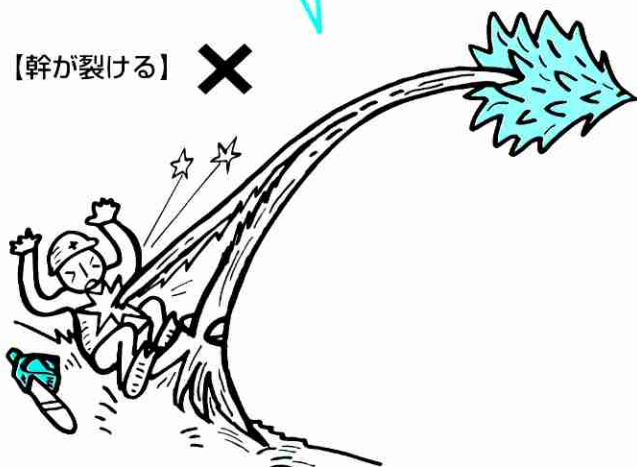
1 立木に残っている被害木の処理

傾き木、かかり木状の木はその曲がり具合などによって異常な力が働いているので力のかかり具合をみきわめることが大切です。

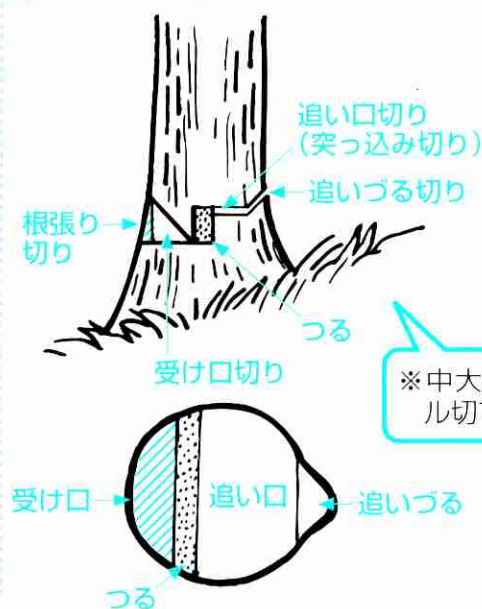
(1) 傾き木

※伐倒方向は傾き方向を避け30～45度程度左右いずれかの方向とします。

【幹が裂ける】



【追いづる切り】



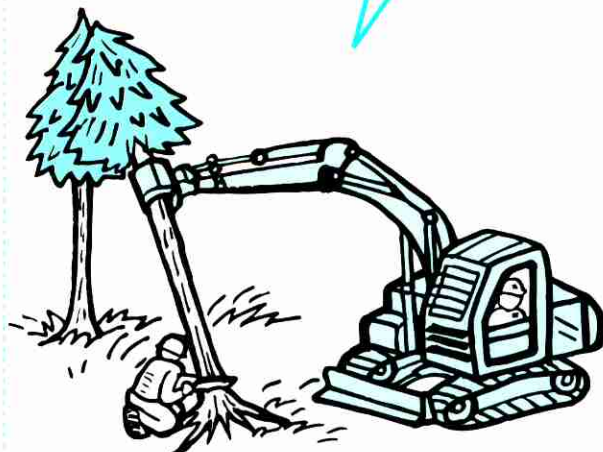
※中大径木は追いツル切で伐倒します。

(2) かかり木

※けん引具で引き倒し転倒木の状態にして処理します。



※グラップルによる固定。



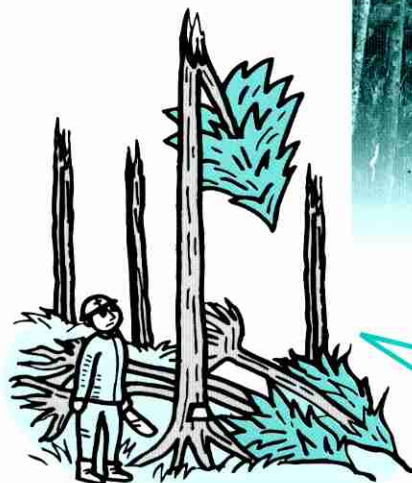
う!!



(3) 欠頂木



(4) 折損木



2 転倒した被害木(転倒木)の処理

転倒木は根株の状態や重なり具合により、異常な力が働いているので、その力のかかり具合を見極めることが大切です。

(1) 曲がっている幹の切り離し

※曲がっている幹は、曲がりの内側から切り込みをいれて、次に曲がりの外側から切り離します。

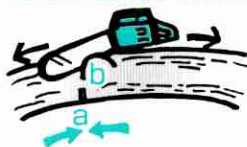
【上に曲がっている場合】



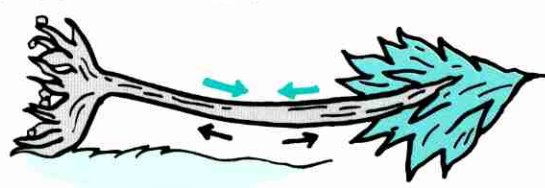
下側から切り始め



そして上側から切る



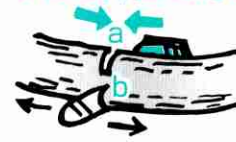
【下に曲がっている場合】



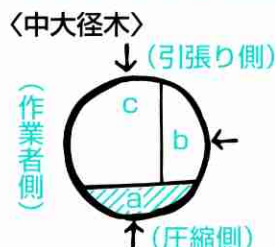
始めに上側に切口をつくる



そして下側から切る



【幹の径の大きさによる鋸断方法】

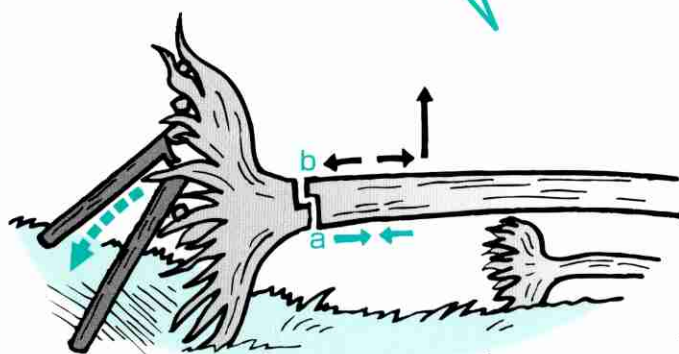


(2) 転倒木の幹と根株の切り離し

※先端から枝払い玉切りを行って応力を弱め、その後に切り離します。



※根株が起き上がっている場合、転動防止の支柱を立てます。



今日も元気で安全作業